

## 協議 意見聴取

- ・ 統合した場合の通学の負担を考えたい。
- ・ 統合に反対ではない。
- ・ 資料の内容が、人が減る等ネガティブな面が多い。統合したときのメリットがあった方がいい。
- ・ 少人数の良さもある。大人数の良さもある。自然、インターネット等選択権があるとうれしい。
- ・ 中学校では統合し、ある程度の人数で学ばせたい。このことについてPTA、自治会の方と話し合いをして、教育委員会に打診させていただいている。5年、10年先となると潮見は厳しい。急いで協議してほしい。
- ・ 統合は賛成。廃校になったときの学校の使い方を最初に検討する必要がある。瑞浪は、企業が購入して使用している。町で検討してほしい。
- ・ 検討委員会の声を町民に伝えてほしい。
- ・ 令和3年度の1年生は75人。1小1中に統合すると雰囲気は違ってくる。
- ・ 東白川小は95%がバス通学。1キロメートルの子どももバス通学で、歩いて登校しているのは数人。
- ・ 町民に周知してほしい。これから保育園に通う保護者に知られていない。その世代の意見を聞いた方がいい。
- ・ 子どもの数が減ってきている。町内だけでなく、町外から見ても素敵な場所をつくってほしい。人数が多い所ではなく、森の中、木造の校舎、子どもが通って楽しいと思える校舎にしてほしい。
- ・ 1キロ先でもバス通学を行ってほしい。
- ・ 教育に力を入れ、魅力ある授業を行ってほしい。(子どもたちの関心があるユーザーとの会話等)
- ・ 身近なデジタルで学べる学校。ロボット、AI, プログラミング、八百津の学校がそれで周知されるような。
- ・ オンラインで学べる学校。弱者でも通える学校。
- ・ 平成13年に県の生徒いきいきプランにより、白川高校が加茂高校と統合した。八百津高校は40名が外国人。県立高校の10校が小規模校である。ICT, オンライン授業を試している。
- ・ 廃校しても校舎は残しておいた方がいい。バス通学では持久力が落ちる。
- ・ 今までにない発想で校舎を考えてほしい。
- ・ 1小1中を目指すということで良かった。
- ・ 令和9年度の1年生が34人。統合するにもこれよりもっと少ない児童数になる。今でいう八百津小、和知小、錦津小と同じ。このままでは小規模校になってしまう。

町外、県外からも通わせたいと思わせる小学校をつくる必要がある。小中一貫校もありではないか。

- ・ 現状、児童数の多い所に建てるのではなく、山間部に通うのもアイデアではないか。
- ・ 女性の意見も取り入れる工夫をしてほしい。
- ・ 全国の統合した事例を教えてほしい。失敗例も。
- ・ 前例がないという理由で却下することのないようにしてほしい。
- ・ こういう会議に出たくない人が多い。LINEやSNSの方がより意見が出る。
- ・ 私は年齢から見ると子育てが終わっている。方向性としては、人数は少なくなる。今の小規模校の在り方が、10年も経たないうちに町内すべての学校で出てくる。
- ・ 子育て世代の意見を聞くことが必要。統合することになるであろうが、その前に意見を取り入れた方がいい。若い世代の意見をまとめてこの会議で話し合うとよい方向に行くのではないか。
- ・ 統合は賛成。人数、建物を考えると統合はやむを得ない。
- ・ 子どもが第一で、ICT、人間性を育てられる学校。
- ・ 子どもが集まれば活気が出る。町全体で子どもとふれあいが持てるといい。
- ・ 年5回の検討委員会を行うが、どういう着地点となるのか。
- ・ 潮見小は危機感を持ってみえるが、他の小学校は危機感がなく、話し合いが行われていない。
- ・ 小中一貫校を教育委員会としてどのように考えているか。資料を示してほしい。
- ・ 6年ほど前に錦津保育園の検討委員会があった。将来的に統合も視野に入れて建て替えるということで解散したが、知らない間に建物が建っていた。